



No. 78

鹿私幼 だより

会報

(一社) 鹿児島県私立幼稚園協会

発行人/上原 樹縁 編集/調査広報委員会
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号

(プロパングス会館 5 階 502 号室)

TEL099-285-6688 FAX099-285-6689

ホーム・ページ <http://muzoca.net>

E-Mail jimukyoku@muzoca.net

『すべては、「良質の教育・保育」 を願って』

鹿児島県私立幼稚園協会

会長 上原 樹縁



子ども・子育て支援新制度が施行され4年が経過します。新年度は5年目の折返し地点、すなわち新制度の見直しです。子ども・子育てを取り巻く環境は、新制度施行時よりも大きく変わってきています。各市や町では、見直しのための利用者ニーズ調査等が行われ、教育・保育の量の確保は勿論のこと、更なる質の向上や多種多様なサービス拡充にも言及されることでしょう。子育て家庭の立場からすると、今年10月から3～5歳児は原則全世帯、0～2歳児は住民税非課税の低所得世帯を対象に、幼児教育・保育の無償化が実現することとなりました。無償化となることでどのような影響が出るか予測ができない状況で、心配されるところです。こうした中であっても、私たちは幼児教育の本質を見失うことなく、公教育の一端を担う施設として襟を正し、健全な経営のもと、良質な教育を目指して切り拓いていこうではありませんか。そのためにも、我々の業界でも叫ばれている「働き方改革」をベースに、教育保育や行事の在り方、研修や記録等の在り方、組織(チーム)の在り方等の見直し地点としての認識を持ち合い、改善・活性化された好循環な環境整備を整えていきましょう。意欲や情熱を常

に持ち、元気で明るい先生方が保育活動に取り組んでこそ、子どもの健全な育ちや成長につながるでしょう。そして、子どもの育ちや成長そのものが保護者や家庭の喜びとなり、幸福に満ちあふれた社会基盤の整備へと繋がっていくことを信じます。

みんなで力を合わせ、『燃える情熱を子どもたちの夢に!』という熱い思いを寄せ合い、ともに育ちあいながら、「良質の教育・保育」を有言実行していきましょう。

最後に、今年度も(一社)鹿児島県私立幼稚園協会の事業活動に対し、多大なご理解ご協力を賜りました。協会役員を代表いたしまして、心より感謝申し上げます。感謝。



I 平成 30 年度の活動を振り返って

基本方針に基づいて計画した各種研修会については、本年度からの新幼稚園教育要領、新幼・保連携型認定こども園教育・保育要領の施行や私立幼稚園等を取り巻く現状を踏まえて、その内容や方法を見直しながら予定通り実施することができた。特に、本年度は、0・1・2歳児の教育・保育に関する内容やマネジメント分野、特別支援教育分野等に係る研修の充実を図った。一方、本年度から研修スタンプシールの発行が始まり、その円滑な推進にも努めた。

1 新規採用教員研修会

第1回目を4月4日(水)に、第2回目を12月26日(水)に実施した。1回目は141名の参加で、研修態度も熱心に緊張の中にも意欲が感じられた。2回目は123名であった。しかし、グループ協議においては、経験したからこそその感想や意見、悩みなどが出され、意義ある研修ができたと考える。「改めて自分の保育を見直すことができた」「同じような悩みを抱えていることが分かってほっとした。」などの感想が多く寄せられた。

2 主任等研修会

6月14日(木)、「マリンパレスかごしま」で実施した。早期離職の防止等も念頭に置きながら、主任のリーダーシップと教職員のメンタルヘルスについての講話を計画した。グループ協議では、主任等としてどのように園を切り盛りしていくか、それぞれの課題や対策等を出し合い協議を深めた。「働きやすい職場作りや教職員の意欲向上に努めていきたい」などの意見が寄せられた。本年度は、昨年以上の出席者となったが、更に出席率を高めていきたい。

3 第57回鹿児島県教職員研修大会南薩大会

7月23日～24日、指宿市民会館を中心にして、全体会と11分科会・特別分科会を実施した。昨年度より約50名多い1144名の参加であった。参加者が予想以上に多かったが、南薩支部の各会場園並びに会員の多大なご理解・ご協力のおかげで、公開保育、分科会、ポスター発表ともに計画どおり実施することができた。

4 第19回乳幼児教育・保育実践講座

8月8日～9日に、「マリンパレスかごしま」で開催した。本年度も、「乳幼児期の健康教育と健康管理」の講座を設定した。また、

新要領実施を踏まえての「教育課程の編成・実施」や、「気になる行動の理解と具体的な支援」や「子どもの心と体を育む音楽遊び(実技)」などの講座を設定した。本年度の参加者は90名であった。

5 免許状更新講習(選択6時間)

乳幼児教育・保育実践講座の1日目の2講座を当てて実施した。昨年より多い51名の受講者があった。講師の適切な指導もあり全員合格した。試験会場には緊張感が満ちていた。

6 第21回幼稚園等教育改善研究会

1月25日(金)～26日(土)に鹿児島市で開催した。参加者は133名。1日目は、昨年に引き続いて西南学院大学の門田理世先生の講演とワークショップがあり、カリキュラムマネジメント等について研修を深めた。2日目は、まず、エミールさくらこども園とうちの幼稚園がすばらしい全体発表をしてくれた。後半は、教諭部会では園内研修や連携等についての熱心な協議が行われ、又、設置者・園長部会では幼児教育無償化に向けての情報交換が行われた。いずれも有意義な研修となった。

7 各支部・ブロックごとの研修

各支部・ブロックにおいて、教育研究部員を中心に年間研修計画を立て、経営、教職員の資質向上、県大会のテーマ研究、当面する課題等について研究・実践を推進し、大きな成果を上げていた。各支部の研修意欲の高さを感じられた。研修スタンプシールの発行についても円滑に進められている。

8 保育教諭等研修会

県男女共同参画課からの委託を受けて、11月6日～7日に「マリンパレスかごしま」で開催した。

研修内容として、絵本の読み聞かせ、0・1・2歳児や3・4・5歳児の教育・保育、特別支援教育、感染症対応、問いと場を大切にしたマネジメント研修、実技指導等を設定した。県内の公・私立の幼稚園、保育所、認定こども園の昨年より多い245名が参加して熱心に研修した。

9 特別支援教育スキルアップ研修会

特別支援教育に特化した研修会として、2月20日に開催した。昨年より多い89名の参加があった。阿久根めぐみこども園の取り

組み、本県の特別支援教育の現状、幼児期の特別支援教育、発達障害児の理解と気付き等について研修を深めた。「基礎的なことから具体的な実践の在り方まで幅広く学ぶことができた」「こどものよさを大事にしながら子どもに向かい合っていきたい」などの感想が寄せられた。

II 平成31年度に向けて

新幼稚園教育要領等に基づく教育・保育の本格実施2年目となる。また、幼児教育無償化も施行される予定である。こうした社会の情勢や保護者

の要望等を踏まえながら、子どもの目線に立ち、また、子どもの発育・発達を踏まえて、より質の高い乳幼児教育・保育を進めていかなければならない。そのためには、研修態様や研修内容、研修方法等の一層の工夫・改善を図っていく必要がある。又、各園における系統的・効果的な園内研修や学校評価等も促進していく必要がある。平成31年度の第58回県教職員研修大会西薩大会が意義ある大会となるよう、又円滑に推進・運営できるよう関係者と緊密に連携をとっていきたい。

政策委員会

平成31年度に向けて

政策委員長 島谷 精利

すべての子どもに質の高い幼児教育を保証することや子どもたちの最善の利益の実現のため日々設置者・園長先生方は努力されていることと思います。

さて、新制度の下、施設型給付の園に対しては、処遇改善Ⅰや処遇改善Ⅱ等の様々な加算がなされています。私学助成の園に対しても処遇改善の動きがありますが、制度の違いにより同じような補助は難しい現状です。私学助成の園でも施設型給付の園と同様に人材確保が重要な問題となっており教職員の処遇改善の実施は重要な課題となっていることは事実であります。

平成30年度も、私学助成と施設型給付と言う二つの立場で予算の要望や陳情を行ないました。平成31年度も様々な形態の施設が混在する中での活動となりますが、要望先が県だけでなく市町村にもすることになっています。市町村との要望は各地域の園での交渉となることも多くなると考えられますので、各地域の行政機関との繋がりを深めていただきたいと思います。

皆様のご意見を元に実情に即した活動と前年度同様以上の予算獲得に努力して参りたいと思います。

1 これまでの政策委員会の経緯

- (1) 九州地区幼児教育合同会議・自治体・役員交流研修会

九州各県の団体長、行政の担当者、政策委員長の談話で今後の課題について意見交換を行いました

- (2) 公明党（国会議員，県議，市議）

昨年に引き続き公明党との意見交換会が開かれ子ども・子育て新制度についての意見交換を行いました

- (3) 自民党友好団体意見交換会（国会議員，県

議，鹿児島市議）

子ども・子育て新制度について、私学助成と施設型給付について等の意見交換を行った。

- (4) 自民党県議団私学振興調査会幼稚園協会意見交換会

調査会に説明を行い新制度について理解を深めて頂きました。

私学助成園に対する処遇改善が実施されましたので、補助の充実と利用しやすい仕組みとなりますように要望しました。

人材確保のための給付型の奨学金の創設を要望しました。

幼児教育の質の向上のために幼児教育センターの設置を要望しました。

- (5) 県知事への予算要望書提出

例年私立幼稚園の「経常費補助金」への財源措置並びに現在予算化されている項目の補助金について、可能な限りの引き上げと新制度下での変化に対応する予算措置及び多子世帯への保育料軽減措置をお願いしました。

幼児教育の質の向上のために幼児教育センターの設置を要望しました。

退職金社団への補助金の増額を要望しました。

2 今後の課題

平成27年度からの子ども・子育て新制度のもと、施設型給付園には処遇改善等の各種加算が始まり、平成29年度から私学助成の園に対しても処遇改善が行われました。しかし、制度の違いにより、施設型給付の園に比べますと私学助成の園方が、改善できる額や改善に対する負担が大きくなっています。

教職員の処遇改善につきましては、制度上、

施設型給付園と私学助成園の処遇改善費用が同額となることは難しいと思いますが、可能な限り近づけるように要望していきたいと思います。

平成30年度も引き続き、県を通じて、各市町村の担当者に、公私幼保並びに地域間の格差がないように指導して頂けるように努めたいと思います。

幼児教育への公費負担が増加する中で幼児教育の質の向上が強く求められています。幼児教育の質の向上のためにも、鹿児島県にも幼児教育センターの設置が急務と言えます。その設

置を強く要望したいと思います。

平成31年度10月から幼児教育・保育の無償化が始まることにより、起こる様々な事象について情報を収集し対処していきたいと思います。

今後は公私幼保並びに地域間の格差が無くなる様に各支部ブロックにおいて近隣の幼稚園や認定子ども園・保育所などと連携し情報を共有して、各園が市町村の担当課との良好な関係を築くことに努力しつつ、各担当市町村に対し要望して行かなければならないと考えられます。

経営研究委員会

活動報告

経営研究委員長 武 祥三

今年度の経営研究委員会は、役員改選があったため例年より遅めの5月25日に、第1回委員会を7名の委員の先生方と活動をスタートしました。なにぶん活動が多岐にわたる経営委員会であるため、初回の話し合いで早速、委員とは別に経営研究部員の先生方6名に新たに加わっていただき、経営研究委員プラス経営研究部員13名で活動を行ってきました。

今年度の主な活動は、以下の通りです。

- ① 平成29年度の財務状況調査及び分析
- ② 私立幼稚園教員採用候補者試験の実施ならびに合同就職説明会開催
- ③ 学生・幼稚園教諭及び保育教諭希望者向けDVD制作
- ④ 県設置者・園長研究協議会において、「平成から新時代を見すえて、これまでを振り返る～新たな幼稚園づくりを考える～」のテーマのもと講演・協議会の開催
- ⑤ 九州地区会（宮崎県）及び全国（栃木県）設置者・園長研修大会への参加
- ⑥ 九州地区合同就職説明会（福岡市）への参加
- ⑦ 私立幼稚園4団体教育交流会（指宿市）
- ⑧ 「平成31年度第35回全日本幼稚園連合会九州地区会 設置者・園長研修大会 鹿児島大会」の企画・準備
- ⑨ プロジェクトKの再起動

平成30年度の経営研究委員会及び経営研究部会の活動で、一番の大仕事はやはり②の「採用候補者試験」と「合同就職説明会」への取り組みでした。動き出しが遅れた今年度だっただけに、会員の皆さまには多くのご不便をお掛けしてしまいましたが、初めてとなった合同就職説明会には、

ご理解ご協力のお陰で、満席となる48ブースの出展をいただき、盛会の後に終了することができました。採用候補者試験への登録者数は465名で昨年度とほぼ変わらない状況でした。

来年度は今年度の反省点を生かして、よりよい内容・成果が得られるように部会で計画を進めているところです。

プロジェクトKは参加要件に年齢立場を問わず、私立幼稚園を媒介として学びの場と共に多くの仲間をつくる場を提供できればと考えています。しばらく休眠状態が続いていたこの活動ですが、今年度経営部員若手の先生方を中心に再起動し、これからの私立幼稚園、鹿児島県の幼児教育現場に、様々な活力をもたらしてくれると期待しています。

秋ぐちまでが大きな要素を占める経営研究の仕事ですが、今年度は来年度の⑧「九州地区設置者・園長研修大会鹿児島大会」に向けての企画・準備を進めているところです。5月末に動き出した経営研究委員会・部会ですが、この準備のために今年度は既に2/14現在で8回の部会を開いたところです。6月26日（水）・27日（木）の2日間に、城山ホテル鹿児島において開催されますが、本大会前日25日（火）には、九州の若手の先生方との交流会も予定されておりますので、多くの参加をいただき是非大会を盛り上げていただきたいと思っています。

幼児教育保育の無償化への対応、そしてまだまだ続く「人材確保」への対応など、課題は山積ですが、会員の皆さまには、多大なるご理解を賜り感謝申し上げますとともに、今後とも積極的な協力をお願いし、一歩ずつ前進のある経営研究委員会・部会にできるように努力して参ります。

瑞宝双光章を受けて



麦野 賦

日置市
学校法人伊集院敬愛学園
幼保連携型認定こども園
伊集院幼稚園
理事長 s

- ・私の幼稚園入園は77年前のこと。7人姉姉の7番目として、日置市伊集院町に誕生(1942年)しました。わたしを出産後、母は40日で他界。養父母のもとに移されました。
- ・新しい両親は、幼児教育者で園長夫妻。園では、お兄ちゃんやお姉ちゃんにかわいがられ成長したように思います。私は幼稚園の在園・卒園生となりました。
- ・30歳で妻と共に幼児教育者に。以来、47年間に亘り、3人の子ども、孫を含め、親子三代の私立幼稚園ファミリーです。
- ・この間、少子化や、社会状況の変化等で幾多の困難や課題に直面しましたが、多くの方々の支えを頂き、特に、私立幼稚園関係のみなさまには過分の愛を賜り今日があります。
- ・医師であり教育者の日野原重明氏は、105歳の人生を全うされました。生前、若々しく生き続けるコツを問われ、「常に新しい自分との出会いを大切に過ごしている」と応えています。
- ・「過去の自分にこだわらず、やり方を決めつけなければ、毎日が自己発見の連続だ」新鮮な感覚に驚くばかりです。
- ・「キープオンゴーイング(前に進み続けよう)」。日野原氏が好きだった言葉を、これからの人生の指針として、励んでまいります。
- ・幼児と幼児教育に関係するみなさまの幸せを祈り、感謝の杯を捧げます。

鹿児島県知事表彰 鹿児島県私立学校教育功労者表彰を受けて



岩川 涼子

屋久島町
認定こども園
すみれ子ども園
顧問

- 平成30年7月「第57回鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会」において、教育功労者表彰をいただきました。大変ありがたく思います
- 私は、公立高校卒業後、地元の役場で9年間勤め、昭和45年4月それまで公立小中学校の教員をしていた実父が私立幼稚園を開園したのでそこで働き始めました。平成14年3月まで33年間頑張りました。その間、事務職を4年間、子どもたちと走り回って遊んだ保育者として21年間、平成6年に園長になり平成14年3月まで8年間、毎日これでもいいのだろうかという反省の日々を過ごしました。特に園長職になってからは園児減少時代が続き、その心配やそれまで木造の園舎での保育だったので園舎の立て直しの問題が生じて苦労がありました。なんとか平成7年に現在の園舎改築が出来たことがもう今では楽しい思い出です。退職してからも5年間は園に通い、園児と触れ合い、声掛けをしたり、環境整備の作業をして子どもたちから元気をいただいていた。平成31年度は開園50年目を迎えます。私も80歳になりました。県下の私立幼稚園の多くの皆様のお力添えと地域の方々の暖かいご支援をいただき、これからも頑張っていけるよう願っています。表彰に際しましてお世話になりました皆様に感謝をしながらお礼に代えさせていただきます。ありがとうございます。

文部科学大臣優秀教員表彰を受けて



宮園 貴子

鹿児島市
幼稚園型認定こども園
草牟田幼稚園
主幹教諭

- 昨年、『鹿児島県私立幼稚園協会会長表彰』をいただき、このたび、『文部科学大臣優秀教員』としての、とても名誉ある表彰を受け、身に余る光栄と恐縮しております。
- このような表彰は、自分には縁のないものと思っておりましたので、ただ驚きでいっぱいでした。と同時に、今後の自分への大きな励ましをいただいたと心から感謝しております。
- 授賞式を終え、受賞に携わっていただきました県・市私立幼稚園協会の皆様をはじめ、先輩の先生方や同僚、そして日頃より支えていただいている多くの皆様のおかげで今の自分があることを改めて感じることでした。
- 幼稚園から認定こども園と移行するなど時代は流れ、社会情勢や子どもたちを取り巻く環境も変わってきました。しかし、そのような中でも変わらないのは、子どもたちと直接かかわることができるという、この仕事の素晴らしさだと思います。その仕事に憧れ、幼稚園の先生になり、たくさん可愛い子どもたちに出会い、子どもたちの日々の成長に喜びをもらいながら、保育者としてのやりがいや、幸せを感じる日々を過ごしております。
- 今後も乳幼児期という生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期に携わる保育者として、様々なご縁を大切にしながら自己研鑽に努め、より一層精進していきたいと思っております。本当に、ありがとうございました。

鹿 児 島 市 支 部

鹿児島市支部では、総務・政策・経営研究・教育研究・広報の5常置委員会を設け、それぞれの委員会が年間計画を立て実践した。

1 重点課題

- (1) 各補助金の増額要望と「新制度移行」についての合議
※一時預かり事業（一般型）の幼稚園導入の実現
※こども未来部保育幼稚園課との連携
- (2) 幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園の趣旨を生かした保育研究、並びに教育課程に係る教育時間終了後に行う教育活動の充実
- (3) 教員の資質向上を目指す各種研修会への参加促進
・各ブロックの研修活動の充実。公私立幼稚園保育研究会への参加。
- (4) 自己評価及び学校関係者評価の実施と公表の充実
- (5) 幼稚園・認定こども園の学びを社会に認知してもらうための企画充実
※「リビングかごしま」との連携（広告の在り方）
- (6) 円滑な接続を目指した幼保小連携の充実。小学校長会との連携・充実
- (7) 個々に応じた発達支援の在り方と個別の指導計画・支援計画の作成
- (8) 幼児の健やかな育ちのために、保健・衛生・食育の充実
- (9) 安心・安全で楽しい幼稚園・認定こども園の環境づくりへの取り組み強化

2 総務委員会

- ①「ホームページだより」の発行 ②「テレホン相談サービス」の継続 ③幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園に関する情報提供

3 政策委員会

- ①市当局への助成等の要望とこども未来部との連携 ②加盟園全園の一致協力した活動の取り組みとPTA・振興議員との連携
※振興議員の「一日園長」実施。2名が体験9年間で延べ43人

4 経営研究委員会

- ①理事長・園長研修会にて幼稚園教育要領等の理解を図った。
ア 平成30年6月25日（月）
講師 金娟鏡氏（鹿児島大学教育学部准教授）
「幼稚園教育・保育におけるカリキュラム・マネジメントとは」
講師 佐藤直明氏（鹿児島国際大学名誉教授）
「自らの可能性を求めて」
イ 平成30年12月17日（月）
講師 佐藤秀夫氏（鹿大歯学部准教授）
「歯と口の健康を考える」
講師 松本伸哉（社労士 chicchi）
「働き方改革と労務管理」

5 教育研究委員会

- ①教育課程の編成の充実 ②教師の資質向上と指導力向上のための研修の充実 ③研修会の参加促進 ④理事長・園長の研修の推進・充実 ⑤主幹教諭及び主任教諭の資質向上（主任研修会の充実） ⑥第18回「絵本の読み聞かせ活

動発表会」平成31年1月22日（火）の実施
6 広報委員会

- ①「かごしま市私立幼稚園だより」の発行 ②新入園児募集活動の広報 ③第15回「かごしま市私立幼稚園・認定こども園フェスタ」9月8日（土）の実施
※約3,000人の来場があり、幼稚園・認定こども園の良さ発信に尽力した。

（支部長 富永 宏）

南 薩 支 部

南薩支部は、指宿市、南九州市、南さつま市、枕崎市の12園が加盟しています。

平成30年度南薩支部の活動としては、7月23日（月）、24日（火）の教職員研修大会南薩大会を開催しました。何回となく実行委員会を開催し、打合せ、準備をしてきました。皆様には何かとご不便をおかけしましたがやり遂げることができました。この大会で、南薩支部が一つにまとまることができました。とっても暑い中、ご参加いただいた先生方に心から感謝申し上げます。

2月16日（土）の冬季研修会では、鹿児島女子短期大学の内田豊海先生を講師にお迎えして、柳和幼稚園の「主体的に学び続ける保育者～人との関わりをとおして～」の発表とグループ討議、意見交換、先生の指導助言をいただき実り多い研修になりました。

今後も、南薩12園の連携を深めながら支部活動を盛り上げていきます。
（支部長 下川床 泉）



西 薩 支 部

西薩支部は、北は出水郡長島町から南の日置市まで南北に細長い支部で18園が加盟しています。支部の活動としては、年4回行われる教育研究委員会では来年度に向け、夏の西薩支部教職員研修大会の企画と準備をし、支部における課題などを協議しました。今年度は30年8月に夏期教職員研修会を、鹿児島純心女子大学にて行いました。

平成31年2月14日に、支部内選出の県議会議員の方々と無償化等の勉強会と意見交換会を行いました。今後このような勉強会を定期的に行っていきたいと思います。また、各市・町会議員とも勉強会を実施していきたいと考えています。

支部PTAの活動として、平成30年11月21日（月）に西薩ママさんバレーボール大会を薩摩川内市サンアリーナせんだいにて開催し、楽しく親睦をはかることができました。

神村学園初等部講堂にて行われていた西薩うたう会が諸事情により開催することが出来ませんでした。何かの機会にPTAの皆様の素晴らしい歌声を聞くことができればと思っています。

新しい制度がスタートして4年目となり、同じ支部の中に違った形態園や同じ園に認定の違う子どもたちが、混在することの違和感が、なくなっ

てきたように感じられます。

いよいよ、幼児教育・保育の無償化が始まり、どのようなことがわかりませんが、このような環境の中、連携をとりすべての子どもの最善の利益のために、また、素晴らしい幼児教育の提供をできるように努力していきたいと思えます。

(支部長 島谷 精利)

大 隅 支 部

大隅支部では、3月22日の支部総会で今年度の活動をはじめました。「大隅地区私立幼稚園教師研修大会」を6月2日、末吉中央幼稚園で開催。午前中は県大会での助言もご依頼していた坪井敏純先生（元鹿児島女子短期大学教授）をお迎えして、「遊びが充実するための環境と教材研究」と題して講演をいただき、午後からの分科会では問題提起園であるしゃらこども園を中心に、それぞれに持ち寄った研修レポートを基に熱心な討議が行われました。「大隅主任研修会」は隔月奇数月、年6回開催。大隅地区研修会テーマは勿論のこと様々なテーマに基づき学びを深めました。1月には第一鹿屋幼稚園に公開保育をして頂きました。

だより



認定こども園に移行した園が半数を超える中、外に出向いての研修参加に困難を覚える園も増えてきつつありますが、「私学は研修が命」という思いで、様々な形で支部研修を工夫継続していきたいと考えています。その意味では県内他の支部の取り組みも、大いに学ばせていただきたく存じます。四市三町に広がる大隅支部は21園と広範囲の大所帯ですが、全園協力的で

心から感謝しています。

(支部長 吉井 健)

始 良 ・ 伊 佐 支 部

始良伊佐支部は、霧島市13園、始良市6園、伊佐市1園の20園が加盟しています。また今年度は新任園長就任者が4名と新しい顔ぶれの中、年度初めの始良伊佐支部設置者園長会において年間の計画を立て実施しました。

① 資質向上研修会の実施

昨年まで実施していた訪問研修会に代わり、教職員の資質向上と指導力向上の為資質向上研修会を研修ハンドブック俯瞰図に沿って実施。

・第1回資質向上研修会（担当：啓明幼稚園）

講演 「特別支援教育の在り方」

講師 村岡綾先生（鹿児島大学教育学部附属特別支援学校）

会場 第一幼児教育短期大学 3階アゼリアホール

・第2回資質向上研修会（担当：宮内認定こども園）

講演 「インプロで瞬時に感じ広がる発想」

講師 牧野周三先生（第一幼児教育短期大学

幼児教育科）

会場 第一幼児教育短期大学 3階アゼリアホール

② 地区教職員研修会・主任研修会・設置者園長会の実施

地区教職員研修会においては、20園中19園100名の参加のもと、第一幼児教育短期大学の池順子先生を講師として実施。また主任会においては交流会を通じて各園主任がまとまり県教職員研修大会分科会等を充実させた

③ 合同就職説明会参加

8月10日県私立幼稚園協会主催の合同就職説明会に6園参加。各ブースにて参加学生への説明、園の紹介が行われた。参加園の中にはそのまま内定にまでつながったケースもあった。また養成校の担当からも評価も高かった。

④ 養成校就職担当訪問

地域にある第一幼児教育短期大学の就職担当へ訪問。近年の学生就職状況をデーターにて確認。県協会の合同就職説明会の実施の影響か、支部地域では学生が就職している数が幼稚園と保育園ではほぼ同じ割合になっている現状があった

⑤ 幼児教育無償化への対応

各地方自治体に対して、来年度の幼児教育無償化に伴い、給食費等の負担軽減を求める運動を積極的に展開し、その実現に向けて行政の理解・協力をいただけるよう協議する。

⑥ 幼稚園ナビの登録推進

全日私幼連が開発の人材確保を目的とした、全国版総合情報ナビサイト「幼稚園ナビ」の登録推進。

今後も始良伊佐支部加盟園がしっかりと協力連携して幼児教育保育を実践していきたいと思えます。(支部長 若松 忠洋)

熊 毛 ・ 大 島 支 部

熊毛・大島支部は種子島6園、屋久島3園、徳之島2園で構成されています。

離島ということもあり、全園参加での研修や交流活動は困難な状況です。そのような中でも熊毛地区と大島地区それぞれで教職員研修や園長、主任研修等を定期的に行っています。

熊毛地区では年間2回の教職員研修の中で、各園研究テーマを中心に自園で取り組んでいる活動をそれぞれに発表を行い、視点の違いの中から気づきを学んでいます。また、そのテーマとは別の研修テーマで、各年齢ごとのグループディスカッションで活発な意見交換も行われています。持ち回りの公開保育や主任研修、園長研修等においても各園、各地域、現場の問題点等の意見交換も充分に行い先生方の熱意も感じられます。業界内の目まぐるしく変わる制度の中で、色々な問題点も離島という不利な立場の中で、人材不足、働き方改革、処遇改善、無償化への取り組み、幼保の連携等悩みながらも幼児教育の充実、質の向上に各園力を各園注いで尽力しています。活動においても、なかなか集まる機会のない中ではありますが、全園協力的で心から感謝しています。

(支部長 岩川 臣之介)

2019 年度の主な行事（予定）

行 事 名	期 日	場 所	行 事 名	期 日	場 所
第 1 回新任教員研修会	4 / 4 (木)	マリンパレス か ぎ し ま	第 35 回九州地区教師研修大会長崎大会 免許状更新講習(2日目分科会)	8 / 8 (木) 8 / 9 (金)	熊 本 県
県私幼協会・県PTA 監事監査	4月/未定	協会事務局	教員採用候補者試験 合同就職説明会	8 / 9 (金)	鹿児島情報高校 キャリアデザイン専門学校
一般社団法人私幼協会理事会	4月/未定	協会事務局	幼保小連携研修大会	8 / 19 (月)	宝山ホール
一般社団法人退職金基金社団 監事監査	4月/未定	協会事務局	第 10 回幼児教育実践学会	8 / 19 (月) 8 / 20 (火)	静 岡 県
一般社団法人退職金基金社団理事会	4月/未定	協会事務局	平成 31 年度 設置者・園長研究協議会(県私幼)	未 定	鹿 児 島 市
県PTA指導者研修会	5 / 9 (木)	サンロイヤル ホ テ ル	第 34 回 九州地区PTA研修会	9 / 20 (金)	福 岡 県
一般社団法人県私幼協会総会 一般社団法人退職金基金社団総会	5 / 13 (月)	マリンパレス か ぎ し ま	全日私幼設置者・園長 全国研修会	未 定	和 歌 山 県
県PTA連合会総会	5 / 29 (水)	黎明館講堂	平成 31 年度 保育教諭等研修会	11 / 5 (火) 11 / 6 (水)	マリンパレス か ぎ し ま
全国私立幼稚園退職金団体協議 会総会・研修会	6 / 13 (木) 6 / 14 (金)	埼 玉 県	九州地区私立幼稚園 退職金団体代表者会議	11 / 14 (木) 11 / 15 (金)	鹿 児 島 県
県主任研修会	6 / 24 (月)	マリンパレス か ぎ し ま	九州地区免許状更新講習講座	12 / 7 (土) 12 / 8 (日)	福 岡 県
第 35 回九州地区設置者・園長研修大会 (鹿児島大会)	6 / 26 (水) 6 / 27 (木)	城山ホテル鹿児島	第 2 回新任教員研修会	12 / 25 (水)	マリンパレス か ぎ し ま
平成 31 年度教職員研修大会 西薩大会	7 / 22 (月) 7 / 23 (火)	川内文化ホール他	第 23 回 幼稚園等教育改善研究会	1 / 27 (金) 1 / 28 (土)	ホ テ ル リブマックス
第20回幼児教育・保育実践講座 ※免許状更新講習(1日目)	8 / 6 (火) 8 / 7 (水)	マリンパレス か ぎ し ま			

2019 年度

第 58 回 鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会 西薩大会 (案)

大会テーマ「子どもたちの今と未来の幸せをねがって」(2年次)
～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～

[日 程]

第 1 日目 7月22日(月)【分科会：西薩支部11の幼稚園等】

9:30	10:00	11:30	11:45	12:45	15:35	15:45
受付	公開保育 (保育参観・会場園見学)	開会 行事	昼食	問題提起・分科会 (中間に休息・後半に指導助言)	開会行事 諸連絡	解散

第 2 日目 7月23日(火)【全体会：川内文化ホール】

9:20	10:20	10:40	10:50	11:40	12:50	13:40	14:00	15:30	15:45
受付 (ポスター発表)	特別 出演	開会式 準 備	開会式	昼 食 (ポスター発表)	講 習	休息 (準備)	講 演	開会式	解散

む っ く ぱ ら ん

平成も残りわずか。バブル経済やリーマン・ショック、2度にわたる大震災、宗教団体による連続テロ事件。昭和天皇の逝去を受け、1989年1月8日から始まった「平成」も残りわずかとなった。2019年4月30日には天皇陛下が退位され、翌5月1日に皇太子さまが即位、新元号が適用される。30年4カ月で幕を閉じることになる平成という時代が果たした役割とは・・・

われわれの世界も「子ども・子育て支援新制度」にともない大きく様変わりしました。来年度は新しい元号のはじまりとともに、「幼児教育無償化」も実施される予定です。目まぐるしく変化する環境の中様々な課題もたくさんあります。だからこそ鹿児島県私立幼稚園協会が担う今後の役割が大変重要になってきます。加盟園みんなで力を合わせて、未来の子ども達の為に新しい時代を作っていきましょう。

調査広報委員 若松 忠洋